

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成29年6月14日

滋賀県知事 殿

提出者

住 所 滋賀県 野洲市 市三宅 686-1

氏 名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

オムロン株式会社 野洲事業所

事業所長 柴田 博志

電話番号 077-588-9000

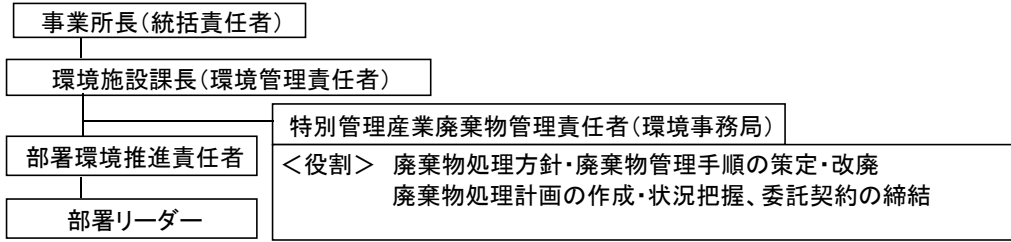
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	オムロン株式会社 野洲事業所
事業場の所在地	滋賀県 野洲市 市三宅 686-1
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規模	出荷額 約70億円
③従業員数	462人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスくず→中間処理後安定型埋立場場に埋立処分 ・木くず→再生処理業者に委託して破碎し、チップとして再資源化 ・汚泥→再生処理業者に委託して、セメント原料として再資源化 ・廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、RPFとして再資源化 ・金属くず→再生処理業者に委託して金属として再資源化 ・廃酸 →中間処理業者に委託して、中和・無害化し、残渣物は管理型埋立場場に埋立処分 ・廃油→廃棄物処理業者に委託して、廃プラスチックを焼却するための助燃剤として利用。燃えがらは、管理型埋立場場に埋立処分

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチックで、成分が同じものが継続して発生する場合は、分別し、有価処理にしている。 廃プラスチックで、塩ビなどRPF化が難しいものについては、分別し、焼却処理にしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も現在の分別方法を継続するとともに、分別により、有価物化をはかる。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり			
※事務処理欄			

産業廃棄物の種類 現状と計画	汚泥		廃油		廃酸		廃プラスチック		金属くず		ガラス、コンクリート、陶磁器くず		木くず	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項														
排出量	4,935.9 t	4,689.1 t	0.5 t	0.5 t	6.9 t	6.5 t	22.8 t	21.6 t	0.2 t	0.2 t	0.4 t	0.4 t	1.5 t	1.4 t
これまでに実施した取組	歩留まり向上(不良率低減)による廃棄物の削減を実施した。													
今後実施する予定の取組	今後も継続して歩留まり向上による廃棄物の削減をはかる。													
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項														
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	-													
今後実施する予定の取組	-													
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項														
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	4,442.3 t	4,220.2 t	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	汚泥の減量率が低下した際に、フィルタープレスのろ布を交換し、脱水性能を維持している。													
今後実施する予定の取組	今後も継続してフィルタープレスのろ布を交換し、脱水性能を維持する。													
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項														
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組														
今後実施する予定の取組														
産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
全処理委託量	493.6 t	468.9 t	0.5 t	0.5 t	6.9 t	6.5 t	22.8 t	21.6 t	0.2 t	0.2 t	0.4 t	0.4 t	1.5 t	1.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	242.5 t	230.4 t	0.5 t	0.5 t	6.9 t	6.5 t	15.0 t	14.3 t	0.1 t	0.1 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	493.6 t	468.9 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	22.8 t	21.6 t	0.2 t	0.2 t	0.0 t	0.0 t	1.5 t	1.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.5 t	0.4 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.5 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
これまでに実施した取組	定期的に中間処理場の現地確認を実施している。													
今後実施する予定の取組	今後も継続して、定期的に中間処理場の現地確認を実施する。													

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。